

# 秋葉区(新津地域)における景況調査の結果概要(2023年10月~12月期)

- 1. 調査対象 100事業所 (有効回答数95社、回答率95%)
- 2. 対象期間 2023年10~12月期実績 及び 2024年1~3月期の見通し
- 3. 調査結果の概要

全業種の業況判断DI値がマイナスである中、建設業は売上高・資金繰りがプラスとなっているが、仕入単価や業況がマイナスとなっている。

全業種で共通している問題点としては、「需要の停滞」と「人件費の増加・圧迫」であり、次に多かったのが「原材料費・人件費以外の経費増加」。サービス業では主に「人件費の増加・圧迫」が最も多く、小売・卸売・製造業では「需要の停滞」が顕著となっている。建設業では「原材料費・人件費を含めた経費増加」が特に目立った。

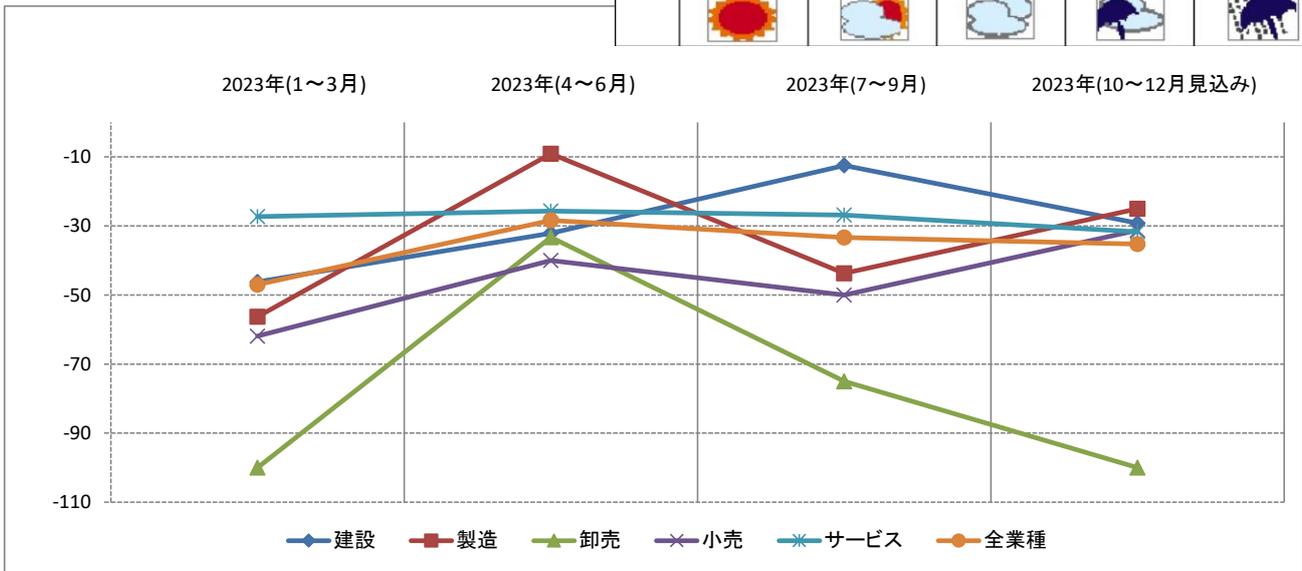
価格高騰による企業活動への影響については「影響が継続している」という回答が65%で、2023年7月~9月と比べて横ばいの割合となっている。この状況が続く中で、設備投資の実施は今期では「OA機器」が最も多く、次いで「車両運搬具」の導入が多かった模様。

## 4. 業種別項目別のDI値※ ( ) は見通し

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
売上高	12.5 (△ 25.0)	△ 31.3 (△ 37.5)	△ 25.0 (△ 62.5)	△ 25.0 (△ 18.8)	△ 14.6 (△ 12.2)	△ 13.3 (△ 23.8)
仕入単価	△ 62.5 (△ 62.5)	△ 62.5 (△ 62.5)	△ 87.5 (△ 87.5)	△ 56.3 (△ 56.3)	△ 39.0 (△ 34.1)	△ 54.3 (△ 52.4)
採算	△ 8.3 (△ 29.2)	△ 31.3 (△ 18.8)	△ 50.0 (△ 50.0)	△ 43.8 (△ 18.8)	△ 17.1 (△ 24.4)	△ 23.8 (△ 25.7)
資金繰り	12.5 (△ 16.7)	△ 18.8 ( 6.3 )	△ 25.0 (△ 62.5)	△ 18.8 (△ 18.8)	0.0 (△ 14.6)	△ 4.8 (△ 16.2)
従業員数	8.3 ( 0.0 )	△ 12.5 ( 0.0 )	12.5 ( 0.0 )	12.5 (△ 6.3)	△ 12.2 (△ 2.4)	△ 1.9 (△ 1.9)
業況	△ 12.5 (△ 29.2)	△ 43.8 (△ 25.0)	△ 75.0 (△ 100.0)	△ 50.0 (△ 31.3)	△ 26.8 (△ 31.7)	△ 33.3 (△ 35.2)

## 5. 業況DI値の推移

DI値	50 ≧ DI	25 ≧ DI < 50	0 ≧ DI < 25	▲ 25 ≧ DI < 0	DI < ▲ 25
	とくに順調	順調	変わらず	悪化	きわめて悪化



## 6 価格高騰による企業活動への影響について

影響は継続している	影響は出たが、既に収束した	今後影響が出る可能性がある	影響なし
65%	5%	22%	8%